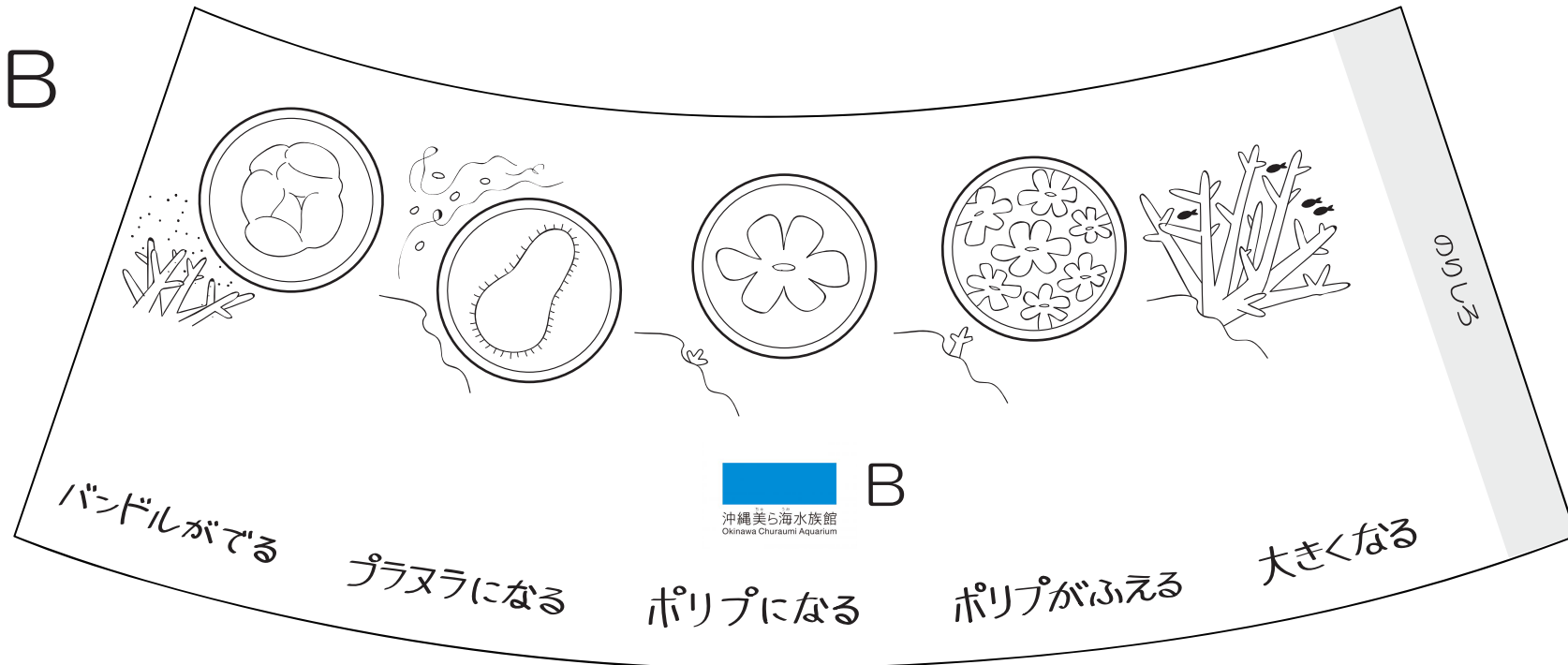
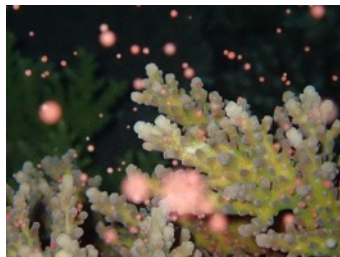


# くるくるサイクル サンゴ編

切り取り線



バンドルがでる



夜、精子と卵がつまった「バンドル」というカプセルを海中へ放ちます。これが「サンゴの産卵」です。沖縄では、5月～6月ごろに見られます。

プラヌラになる



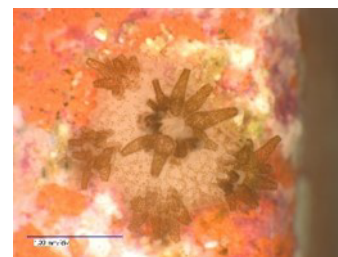
「プラヌラ」という赤ちゃんになります。体の周りに毛のようなものがあり、動き回ることができます。この時期に一生涯を過ごす場所を見つけて、岩などにくっつきます。

ポリプになる



岩などにくっつくと、形が変わり、大きさ1ミリほどの「ポリプ」になります。海中のカルシウムを吸収して体の中に骨を作ります。これがサンゴ1匹です。

ポリプがふえる



自分のコピーをつくり、ポリプの数を増やすことで大きく成長していきます。これを「群体」といいます。

大きくなる



早いものだと1年間で約20センチ大きくなり、3～4年経つと、産卵することができます。